

弘法大師御入定千百五十年御遠忌記念

人生は遍路なり

弘法大師1150年御遠忌記念

人生は遍路なり

うれしかった言葉

「ほつくり寺改築記」

四国一番霊場霊山寺 芳村超全
当寺南一糸の處に、私が兼務している景德山保久利院地福寺というばっ

くり地蔵がございます。

今回七十戸の檀家で全面改築をという事になり、七十万円平均の負担金が心を集めて寄せられた。さて工事発注の相談の会で、檀家の人が私に、「住職さん、私達は寄附させてもらた。出資したのではないから文句は云いません。住職さんの好きな様に会社を決めて下さい。」一参りましたね。信じられ任される嬉しさと責任!!

健康長寿、ぱくり祈願の寺として、全国の地蔵信徒のお参りを待っています。必ず電話で予約して参って下さい。
0886-41-0400
誠
心
住
持
とい
う
覚え易い番号を電話局長が当てゝ下さいました。

私は二番、五番、六番、七番、十一番、住職と外三名の布教師も交代で法話をさせて頂き、教を伝え、共に祈る寺として努力したいと思っています。ビデオにて法話もございます。お堂丈は冷暖房完備です。

四国霊場第一番 霊 山 寺

徳島県鳴門市
大麻町板東

<四国八十八ヶ所霊場会発行>

弘法大師1150年御遠忌記念

人生は遍路なり

「毒矢を抜く」 二番極楽寺 昌憲記

箭喻經というお經の中に、毒矢の話があります。「ある人が毒矢を射られたら、すぐ医者もかえ手当をせねばなりません。ところが、その時、毒矢に当った者が、矢を射た者の名前は、どこの町の者か、弓矢の種類は、……それらがわからぬ間は、この矢を抜き取ってはならない……というならば、その人は毒が体にまわって死んでしまうだろう。」

私達の人生も同じことがいえるでしょう。机の上で考へるだけでなく、又頭の中で考へるだけでなく、積極的に実行努力する事が大切でしょう。四国遍路の旅も、先達さんにするめられたから……でも良い。金剛杖を持って発心、修行、菩提、涅槃の道場を同行二人の旅をつづけるうちに、さわやかなお大師様の靈験の心にふれることが出来るでしょう。

徳島県鳴門市
大麻町桧ダンの上

四国霊場第二番 極 樂 寺

<四国八十八ヶ所霊場会発行>

弘法大師1150年御遠忌記念

人生は遍路なり

金 泉 寺 弦 元 和 信

青少年の非行が深刻な問題となっています。各方面で懸命の努力がなされています。純真無垢な青少年の心を非行の色に染めるものは何なのか、我々大人の何気無い動作、言葉の一つにも重大な責任があると思われます。

次の文はある新聞に投書されたものです。郵便局で老齢年金を何度も押しいだいて受取る老婦人がいた。あの年になれば年金はよほど尊いのだろうと思ったその時「人を泥棒扱いする氣か、わしの錢をわしが出すのに何で証明書がいるんなら」とゆう若者の怒声が聞へた。

本人か否かの確認資料に免許証の提示を求められたのに對する誤解の怒声だ。

窓口のきまりを説明する局員に「違反場所へ車を止めとんや出すのか出さんのか」となおもすごむ、すると「あんたがもし貯金帳を落して私が拾つてすぐお金を払出したら困るのはあんたやそれを防いでくれるええきまりや、急がば回れや、ごじやごじや言わんと車から免許証取つて来なはれ」と先ほどの老婦人が言つた。短氣者も相手が余りの老齢にかかるいは心でうなずいてか外へ出て行つた。自分や家族に関係のない事にはかかわりたくない、さわらぬ神にたりなし今の世の中、愛が枯れている。もののはずみで殺されかねない恐怖の中、憶することなく孫を諭すが如く物の道理を説く毅然たる態度又当然の権利である年金を押し戴いて受取る心の奥ゆかしさ。人生の師に出合つた思いです。

四国霊場第三番 金 泉 寺

徳島県板野郡
板野町大寺

<四国八十八ヶ所靈場会発行>

弘法大師1150年御遠忌記念

人生は遍路なり

四番黒岩山大日寺は全国にも珍しい赤色の鐘楼山門を必ず通ります。此の山門を通過する時から参拝者の真実にして正直な誠の心が大切です。「弘法大師の心で参る大日寺」其れが誠の同行二人と考へて良いと思ひます。正面の本堂内の御本尊様は金剛界の秘仏大日如来です。そこで大日如来の御利益につきまして一言申し上げておきたいと思ひます。弘法大師様は次の様に申されて居ります。
それ諸仏の事業は大慈をもつて先とし菩薩の行願は大悲をもつて本となす、慈はよく樂をあたえ悲はよく苦をぬく、拔苦營樂の基人々に正路を示す、これなり、いわゆる正路に二種あり、一には定慧門一には福德門なり、
此の意味は「目ざめたもの」(仏)は働きが何より大切で、根本は大悲にあります。菩薩の道を求めるものは大悲をもちいて他人を救う気持を強くいだいて居ります。又大慈はより積極的な大日如来の愛の働きであり、大悲は人々の苦しみ不幸を取り除こうとする、さらに大きな愛の働きです。此のように慈と悲は言葉では区別されますが、しかしこれらの二点を等しく大慈悲として組み立てなおす事によって、人々(他人)に本当の正しい道を教え示す事が出来るのです。仏教はつねに正しい道。すなわち悟りを求める事が目的です。弘法大師は此の道を目指すに二つの入口をお示しになりました。「定慧門と福德門」がそれです。定慧は瞑想と智慧であり、福德は布施を実践する事です」ところが弘法大師は此の二門の後者をもう少し積極的に解釈されて居る。なわち福德は結局仏塔や仏像を建立する事だと言ふのです。御大師様が申されて居る事は、ものごとは形式的な事にとどまらず何事も正しい教えといふものは宗教的な信仰の高まりとして「かたち」におきかえて行動する事が大切なことだと申されて居ます。弘法大師の教えはやはり大日如来の御利益、又は働きにも通じて居ると申さねばなりません。

拜書

四国霊場第四番 大日寺

徳島県板野郡
板野町黒谷5

<四国八十八ヶ所霊場会発行>

弘法大師1150年御遠忌記念

人生は遍路なり

道しるべ

- ① 御苦労さん！笑顔で交す合言葉
- ② 人生は一步一步の山登り
- ③ 人生は努力の二字の積み重ね
- ④ 心せよ照る日曇る日雨ふる日
- ⑤ 己が世は他人ありての己が世ぞ
- ⑥ 朝に礼拝 夕に感謝
- ⑦ ゆらぐ灯明 ゆるがぬ仏心
- ⑧ 母が拝めば子も拝む
- ⑨ 拝む姿の美しさ
- ⑩ お大師さまよる心に憂いなし
- ⑪ お四国でお大師様と会いましょう
- 私の好きな言葉です
ゆつくりと味わって下さい

四国五番

地蔵寺

岡本

慈勝

四国霊場第五番 地蔵寺 德島県板野郡
板野町羅漢

<四国八十八ヶ所霊場会発行>

弘法大師1150年御遠忌記念

人生は遍路なり

温泉とさかまつ

阿波の北方阿讃山脈の山麓は古く弥生時代に開けた土地である。

古来この山すそをぬって鳴門から四国の奥地に入る街道があり、多くの山岳修行者たちはこの街道を通って山に入った。

この土地は春夏秋冬とおりおりに果物や作物がどれ、人情の厚いところもある。

又、この街道ぞいの引野という村には昔から温泉があり、旅人はここに足をとどめた。

弘法大師・空海も夏には大王の気持で衣のえりを開いて風を入れ、冬には首をぢめて、たもとをおおってこの街道を西にあるいは東に向われた。

弘法大師のあの大空や、大海のようにきれいなものも、きたないものも生も死も、すべてをおおいつくす、広い心はこの四国御修行の時代につちかわれたのである。

弘法大師はこの引野村の温泉地に御堂を建て、薬師如来を安置され、温泉山安楽寺と名づけられた。現在冷泉をもとにして、阿波の名石青石で温泉が造られ、お大師さま手植の逆松の伝説と共に阿波の名所の一つに数えられています。

四国霊場第六番 安樂寺

徳島県板野郡
上板町引野寺

<四国八十八ヶ所霊場会発行>

弘法大師1150年御遠忌記念

人生は遍路なり

大師の本願にかえれ

当山は阿弥陀様を本尊として開基されました。大慈悲と抱擁、忍と行により、この四国路を遍路して生身の私達の心を磨き身体をきたえ自信を以って明るい家庭、住みよい社会を作ることが現世浄土であります。

世界に一つしかないこの遍路行は先づ個人の人格の完成から社会平和にまでする、本願を今皆さんは、如実に実践されて居られますので何卒、求共勤行の忍業に御精進下さい。

十楽寺住職
羯磨 禅城

四国霊場第七番 十 樂 寺
<四国八十八ヶ所霊場会発行>

徳島県板野郡
土成町高尾

弘法大師1150年御遠忌記念

人生は遍路なり

人の世の旅は路づれ

昨日へは戻らぬ時間背負うとも
お大師様と今日も旅ゆく

四国第八番靈場

熊谷

寺

四国靈場第八番 熊谷寺 德島県板野郡
土成町大字土成

<四国八十八ヶ所靈場会発行>